



2022年6月1日
公文教育研究会

「公文教育研究会×プロンテストコンソーシアム」が EdTech 導入補助金 2022 の事業者として採択 EdTech ツール無償利用のお問い合わせ受付開始！

株式会社公文教育研究会（本社：大阪府大阪市・代表取締役：池上秀徳／GC&T 事業推進部：東京都港区）と株式会社プロンテスト（東京都中央区・代表取締役：奥村真知）によるコンソーシアム事業が、EdTech 導入補助金 2022 の事業者として採択されました。これにともない、自治体・小中学校向けに「小中学生向け実践英語力チェックアプリ」「プロンテストシリーズ」を無償で利用いただくためのお問い合わせを受け付けます。下記「コンソーシアム事業導入のお問い合わせ先」までメールでご連絡ください。なお第1回目の受付は6月10日（金）15:00 までです。第2回目以降は、先着順で対応いたします。

◆EdTech 導入補助金

経済産業省の「令和3年度補正 学びと社会の連携促進事業（先端的教育用ソフトウェア導入実証事業）費補助金」（※1）は、EdTech ツールの導入補助により学校等教育機関および学校等設置者と教育産業の協力による教育イノベーションの普及を後押しするものです。EdTech ツールを学校等に導入し実証する事業者に対して、その導入費用の一部を補助する制度で、学校や教育委員会は採択された事業者の EdTech ツールを 2022 年度末まで、トライアルとして費用負担なくご利用いただけます。

（※1）EdTech 導入補助金 2022 <https://www.edt-hojo.jp/>

◆今回ご提供する EdTech ツール

本コンソーシアムが提供する「小中学生向け実践英語力チェックアプリ（1st ツール）」「プロンテストシリーズ（2nd ツール）」（※2）は、英語の授業や自習において個別最適化された復習を実現します。TOEFL®に準拠した世界基準の英語で構成された 1st ツールを確認テストとして使うことで、習熟の特徴と各検定教科書における復習箇所が個々の児童・生徒に提示されます。2nd ツールは、口の状態を調節しながら自分で音を確認できる発音判定矯正エンジン「プロンテスト®」を搭載し、検定教科書に準拠した問題を多様な活動で学習することが可能です。また教職員が担っていた作問・採点・個別指導の一部が、AI 技術によって代替さ

れることで業務負担軽減や働き方改革にもつながります。

(※2) 学校団体様向け資料

小中学生向け実践英語力チェックアプリ (1st ツール)

https://gc-t.jp/wp-content/uploads/2022/05/materials_for_school_groups.pdf

プロンテストシリーズ (2nd ツール)

https://gc-t.jp/wp-content/uploads/2022/05/junior_high_school_textbook_compliant_leaflet.pdf

◆新しい時代の英語の学び

公文教育研究会は、一人ひとりの「可能性の追求」を目指す一環として、ETS が提供する *TOEFL Primary*[®] および *TOEFL Junior*[®] の日本国内での展開に参画しています。このたびは世界基準の英語を応用した EdTech ツールをご提供いたします。今後も、管掌する GC&T 事業推進部は、新しい時代の英語の学びの可能性を追求し、個別最適な学習として具現化する挑戦をして参ります。

■ リリース・取材に関するお問い合わせ先

公文教育研究会 社長室 広報チーム
〒108-0074 東京都港区高輪4-10-18 京急第1ビル12F
TEL : 03-6836-0030
メールアドレス koho@kumon.co.jp
KUMONオフィシャルサイト <https://www.kumon.ne.jp/>
過去プレスリリース <https://www.kumon.ne.jp/press/>

■ コンソーシアム事業導入のお問い合わせ先

公文教育研究会 事業開発本部 GC&T事業推進部
〒108-0074 東京都港区高輪4-10-18 京急第1ビル12F
メールアドレス toefl_info@kumon.co.jp
GC&T公式ウェブサイト : <https://gc-t.jp/>

※お申し込み順に、本EdTechツールの特徴、導入の手順についてご案内します。